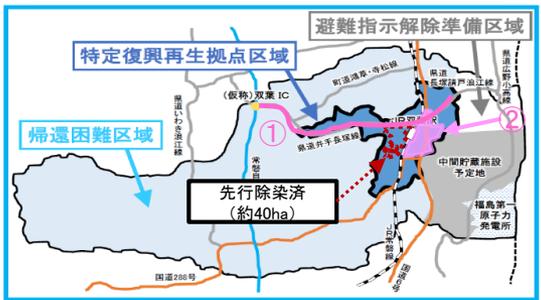


特定復興再生拠点区域整備の状況(2018年11月9日時点)

参考

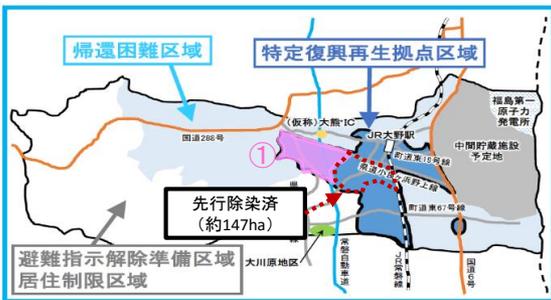
- 福島復興再生特別措置法の改正(H29.5)により、将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域内に、避難指示を解除し、居住を可能とする「特定復興再生拠点区域」を定めることが可能となった。
- 市町村長は、特定復興再生拠点区域の設定及び同区域における環境整備(除染やインフラ等の整備)に関する計画を作成。同計画を内閣総理大臣が認定し、復興再生に向けて計画を推進(計画認定から5年を目途に避難指示解除を目指す)。
- 11月20日に葛尾村が着手することにより、以下の6町村において解体・除染等工事に着手することとなった。

双葉町(2017.9.15認定、約560ha)



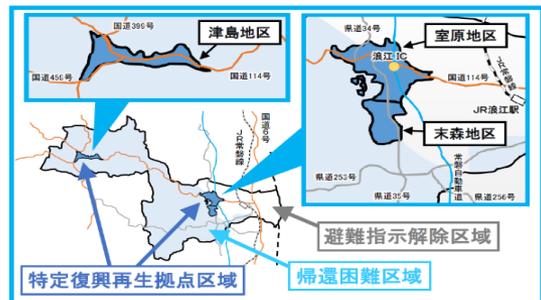
- 【工事状況】: 2017.12.25着工
- ①復興シンボル軸解体・除染工事
(解体55件、除染約7ha): 実施中
 - ②駅東等解体・除染工事
(解体640件、除染約90ha): 実施中

大熊町(2017.11.10認定、約860ha)



- 【工事状況】: 2018.3.9着工
- ①下野上地区の西エリアを中心とした解体・除染工事
(解体460件、除染約160ha): 実施中

浪江町(2017.12.22認定、約660ha)



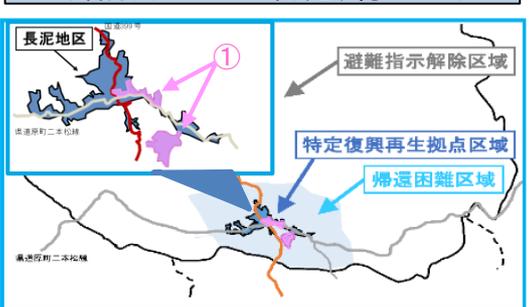
- 【工事状況】: 2018.5.30着工
- ①一部道路の除染工事(除染約4ha): 完了
 - ②3地区における解体・除染工事
(解体60件、除染約30ha): 実施中

富岡町(2018.3.9認定、約390ha)



- 【工事状況】: 2018.7.6着工
- ①夜ノ森駅周辺の除染工事(除染約0.3ha): 完了
 - ②拠点北エリアの解体・除染工事
(解体300件、除染約80ha): 実施中

飯舘村(2018.4.20認定、約186ha)



- 【工事状況】: 2018.9.28着工
- ①長泥地区の居住促進ゾーンを中心とした解体・除染工事
(解体20件、除染約30ha): 実施中

葛尾村(2018.5.11認定、約95ha)



- 【工事状況】: 2018.11.20着工予定
- ①建物解体、道路除染について準備中
(区域内の一部建物解体10件、除染約0.5ha)